

令和6年度
喜須来小だより
5月号
まごころの教育推進校

まごころ



《校訓》
ただしく・やさしく・
たくましく
《問い合わせ》
TEL: 0894-36-0303
FAX: 0894-36-0189

伝えたいこと

教頭 菊池 貴洋

令和6年度がスタートして、はや1か月がたとうとしています。19名のかわいい新入生を迎え、全校児童は128名となりました。先日行われた「1年生を迎える会」では、児童会が中心となって、6年生が会を大いに盛り上げてくれ、新入生のみならず、全校の笑顔がはじける会となりました。感染症には、依然として注意が必要なものの、子どもたちは元気に教育活動を行っています。

さて、今回は4月7日の学校の様子をご紹介します。7日とは始業式、入学式を前日に控えた日です。各教室を回ってみると、どの教室にも整然と並んだ机の上に、今年使っていく教科書がそろえられています。そして、黒板にはメッセージが書かれています。担任の先生方が受け持つ学級の子どもたちに向けて書いた様々なメッセージでした。

「いろんなことにチャレンジして、ちからいっぱいがんばりましょう」「さあ、始まるよ。わくわくするね。はりきって!」「助け合い、力を合わせてSmileいっぱいの楽しい1年にしましょうね」「一味同心の気持ちで目的を達成しよう」

3月は卒業生、そして転・退任の先生方を送り出し、本当に寂しくぽっかりと心に穴がいたような気持ちになりましたが、これらの黒板のメッセージを見ていると、もうそこに新しい出発がやってきていることを感じることができ、自然と前向きな気持ちになってきました。

4月という大切なスタートを迎えるにあたって、私が特に今年度大切にしていきたいと思っていることが一つあります。それは私自身の教師生活の中での忘れられない経験からきていることです。私には苦手にしてきた分野の指導があります。合唱指導です。どうみても、どう考えても私の指導では学級の子どもを合唱で良い方向に導けるような気がしませんでした。そこで、思い切って優れた音楽指導をしている先生に「合唱の指導はどうすればうまくできますか?」と聞いてみました。すると次のような答えが返ってきました。

「あなたは合唱で子どもたちに何を伝えたいのですか?」
私は何も答えることができず、口ごもってしまいました。先生は続けて「指導には目的があつて、もちろんそれは子どもどんな姿を目指すかであり、そこにアプローチするためにはこれが正しいという指導はありません。まずはあなたが音楽とは何か。合唱を通して子どもに何を伝えたいのかを考える必要があります。」

教え方や授業の型にばかりとらわれ、教育の本質に迫っていなかった自分自身の恥ずかしさが今でもよみがえってきます。教育の本質に迫ることは難しくあり、厳しくもありますが、心から楽しいことでもあると思っています。今年度も子ども達の達成感や心からの笑顔を大切にしながら教育活動を行っていきたいと思います。

